



広報えひな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

史跡巡りは春風と

○ 資料豊富な温故館

ミニ史跡散策コース

出発点は海老名駅
ト地点は海老名駅東口です。こ
こから目の前の海老名中央公園
に進むと、公園の中央にベンチ
が設置されています。このベン
チには、市の史跡や伝承を題
材とした「郷土かるた」がタイ
ルでデザインされています。
得るもの良いでしょう。

中央公園の南側にある道路
(主要地方道横浜厚木線)を東
に向かって進み、国分派出所を
過ぎてから一つ目の信号のふた
手前方に大きな古木が見えています。これが、
○県央にさすが海老名の
大ケヤキと、海老名郷土かるたでも詠
まれている海老名の大ケヤキ
(周囲8m、高さ20m、樹齢約
800年)です。現国分寺(薬師堂)
参道入口にあるこの古木は、県
指定天然記念物に指定されています。

このほど相模国分寺跡に
二基の大型案内板(高さ2.6
m、横幅2.7m、瓦屋根つき)
が設置されました。

このほど相模国分寺跡に
設置された案内板
七重の塔などを紹介

温故館にある七重の塔の模型



屋根つきの大型案内板が登場

相模国分寺跡は、大正十年
に県内で最初に国から史跡
指定された重要な遺跡で、
以前から多くの人たがこ
となどが紹介されています。
今回の案内板は、同史跡地
に所在する天平の礎石と
天平の礎石を解説し、同時に郷
土の歴史に親しんでもらう
ため設置されました。

案内板のうち、一基は史跡
地内の七重の塔付近にあ
り、調査によって推定され
た塔の大きさなどを文章で
紹介しているほか、塔の予
想図が掲載されています。
もう一基は史跡地東西
に横切る道路沿いにあり、
相模国分寺の全体図や、同
寺が全国の国分寺の中でも
最大規模クラスであったこ
となどが紹介されています。

相模国分寺跡は、大正十年
に県内で最初に国から史跡
指定された重要な遺跡で、
以前から多くの人たがこ
となどが紹介されています。
今回の案内板は、同史跡地
に所在する天平の礎石と
天平の礎石を解説し、同時に郷
土の歴史に親しんでもらう
ため設置されました。

○県央にさすが海老名の
大ケヤキと、海老名郷土かるたでも詠
まれている海老名の大ケヤキ
(周囲8m、高さ20m、樹齢約
800年)です。現国分寺(薬師堂)
参道入口にあるこの古木は、県
指定天然記念物に指定されています。

○釣鐘は国分季頼の銘

大ケヤキの前から参道を進む
と、そこは現国分寺。ここにあ
る銅鐘(総高140cm、口径72cm)
は、鎌倉時代末期で、この地に居
を構えていた海老名氏の一族源
季頼が尼寺に寄進したもので、

て、かつてこの辺りが海だった
ころ、舟をつなぎとめた杭が根
付いて大木になった、という伝
説があります。

伝説にも出合える

参道を下つてもとの道に戻り
百選にも選ばれました。
館内には、市内から出土した
温故館が見えてきます。この発
掘された相模国分寺復元模型
は、大正七年に海老名
村役場として建設されたものを
修復したもので、県の「建築物
百選」にも選ばれました。



○尼の泣水伝説…恋人の漁師の
ために、国分寺に放火し処刑された
尼僧の涙がやがて清水になった
と言われています。写真は供養碑

国分寺跡で往古しのぶ

底冷えのする日々も過ぎ、ようやく春らしい気候になりました。この時期、暖かい日差しを浴びながら市内を散策してみてはいかがでしょう。「面倒だし、目的もなくぶらぶら歩いても…」という人のために、今回は相模国分寺跡を中心としたミニ版史跡散策。「コースを紹介します。短時間で回りますので、一度お試しください。

出発点は海老名駅
ト地点は海老名駅東口です。こ
こから目の前の海老名中央公園
に進むと、公園の中央にベンチ
が設置されています。このベン
チには、市の史跡や伝承を題
材とした「郷土かるた」がタイ
ルでデザインされています。
得るもの良いでしょう。

中央公園の南側にある道路
(主要地方道横浜厚木線)を東
に向かって進み、国分派出所を
過ぎてから一つ目の信号のふた
手前方に大きな古木が見えています。これが、
○県央にさすが海老名の
大ケヤキと、海老名郷土かるたでも詠
まれている海老名の大ケヤキ
(周囲8m、高さ20m、樹齢約
800年)です。現国分寺(薬師堂)
参道入口にあるこの古木は、県
指定天然記念物に指定されています。

このほど相模国分寺跡に
設置された案内板
七重の塔などを紹介

が設置されています。このベン
チには、市の史跡や伝承を題
材とした「郷土かるた」がタイ
ルでデザインされています。
得るもの良いでしょう。

中央公園の南側にある道路
(主要地方道横浜厚木線)を東
に向かって進み、国分派出所を
過ぎてから一つ目の信号のふた
手前方に大きな古木が見えています。これが、
○県央にさすが海老名の
大ケヤキと、海老名郷土かるたでも詠
まれている海老名の大ケヤキ
(周囲8m、高さ20m、樹齢約
800年)です。現国分寺(薬師堂)
参道入口にあるこの古木は、県
指定天然記念物に指定されています。

このほど相模国分寺跡に
設置された案内板
七重の塔などを紹介

